

ポーランド政治クロノロジー(2011年7月)

月	内政	外交
7月	<p>2日 ロストフスキ財務相,ポーランドのユーロ導入時期については未定と発言。</p> <p>4日 コモロフスキ大統領,今秋議会選挙日につき10月9日,1日間投票と明言。中絶法の導入については反対する意向を表明。</p> <p>5日 民主左翼連合(SLD),選挙対策本部長にヴジョンテク議員(下院国防委員長)を選出。</p> <p>5日 ドゥトウキエヴィッチ・ブツワフ市長,上院選挙にむけて,地域の有力者の立候補を擁立する考えを表明。</p> <p>6日 ジョブロ欧州議員(PiS),欧州議会において,ポーランドでは民主主義とメディアの自由が危機に瀕していると発言。</p> <p>7日 カチンスキPiS党首,政府に対し,議会選挙前にスモレンスクの大統領専用機墜落事故政府調査報告書を公表するよう要求。</p> <p>7日 SLD,メディア法改正を要求(ジャーナリストの見解が客観性等の基準を満たしているかを図るライセンス制の導入)。</p> <p>8日 モイジェソヴィッチ「ポーランドが最も重要」(PJN)議員,同党副代表に就任。</p> <p>9日 カチンスキ PiS 党首,中道右派女性会議に出席,女性の尊厳保護が最優先課題と主張。</p> <p>10日 マゾピエツキ大統領府補佐官ら,イエドバブネのユダヤ人虐殺70周年追悼式典に出席,コモロフスキ大統領による謝罪を代読。</p> <p>10日 カチンスキ PiS 党首,右派系カトリック・ラジオ「ラジオマリア」の PiS 支援に謝意(於:ヤスナ・グラ)。</p> <p>10日 SLD,社会政策プログラムを発表,最低年金水準の引き上げを要求。</p> <p>12日 コモロフスキ大統領,下院によって否決された国家ラジオ・テレビ評議会(KRRiT)年次報告書を了承。</p>	<p>1日 ポーランド,EU議長国に就任。</p> <p>1日 トゥスク首相,ポミアノフスキ元駐日大使を外務次官(東方担当)に任命。</p> <p>4日 シコルスキ外相,バチカン,伊訪問。</p> <p>4日 ポーランド・仏・独,ワイマール戦闘グループの創設に関わる合意文書に署名(於:ブリュッセル)。</p> <p>5日 外務省,ポチョプト「ガゼタ・ヴィボルチャ」紙フロドナ特派員に執行猶予付判決が下されたことに一定の評価を与えつつ,有罪判決を非難する声明を発表。</p> <p>6日 トゥスク首相,欧州議会において演説(於:ストラスブール)。</p> <p>6日 メデルチ・アルジェリア外相,ポーランド訪問(-8日)。</p> <p>6日 グリシチェンコ・ウクライナ外相,ポーランド訪問。</p> <p>6日 Bui Thanh Son ベトナム外務副大臣,両国政治・経済協議のため,ポーランド訪問。</p> <p>6日 賀国強中国共産党中央政治局常務委員,ポーランド訪問。</p> <p>6日 新ポーランド特殊部隊 Agat 創設。</p> <p>7日 シコルスキ外相,在リビア・ポーランド大使館を6月末にベンガジに移動し,ボゼク駐リビア大使が着任する旨発表。</p> <p>7日 ヴォイトヴィチ農業副大臣,訪露。</p> <p>7日 チボル・ハンガリー法相,ポーランド訪問。</p> <p>8日 バローゾ委員長他23名の欧州委員,ポーランド訪問。</p> <p>10日 シコルスキ外相,訪印(-13日)。</p> <p>12日 パヴラク副首相兼経済相,ブリュッセル訪問(-13日)。</p> <p>12日 サヴィツキ農相,ブリュッセル訪問(-14日)。</p> <p>12日 ボルセヴィチ上院議長,エジプト訪問(-14日)。</p> <p>12日 欧州人権裁判所,露軍検察による2004年9月のカティンの森事件審理の中止に関する,ポーランド市民による不服申し立てを受理する旨発表。</p> <p>12日 前ISAF司令官・ロドリゲス米陸軍中将,チュニフ参謀総長を訪問。</p> <p>12日 チュニフ参謀総長,イタリア訪問(-13日)。</p>

<p>12 日 リビツキ議員及びトムチャク議員(共に PJN),「市民プラットフォーム」(PO)へ移籍。</p> <p>18 日 ドウダ労組「連帯」議長,スヘティナ下院議長に対し,最低賃金を経済成長に合わせてスライドさせる最低賃金法改正案を手交。</p> <p>20 日 憲法法院,1 月に採択された改正選挙法の合憲性に関し,2 日間投票日及びTV等での選挙広告等禁止は違憲,上院選挙への小選挙区制導入,代理人及び郵送による投票は合憲と判決。</p> <p>24 日 日本の震災地の子供 30 名がポーランド伝統空手協会等の招待によりポーランドに滞在(～8 月 10 日,於:スタラ・ヴィエシ)。</p> <p>26 日 バルバラ・ブリダ元 SLD 議員自殺原因調査最終報告書,同下院委員会で了承。</p> <p>27 日 シェインフェルド PO 下院議員,今会期中にも行政規制緩和関連パッケージ法案を提出する考えを示す。</p> <p>28 日 スヘティナ下院議長,来年予算案の採択は議会選挙後に行う見通しと発言。</p> <p>29 日 PO全国評議会開催。トウスク首相は,今後4年間もポーランド人により良い未来を保証すると発言,議会選挙のPO候補者リストを承認。</p> <p>29 日 ティシュキエヴィッチ PO 報道官解任。後任にオルシェフスキ議員が就任。</p> <p>29 日 クリフ国防相辞任表明を受け,トウスク首相はこれを了承。後任にシェモニャク内務次官が内定。</p> <p>29 日 コモロフスキ大統領,トウスク首相,スヘティナ下院議長との政府事故調査報告書に関する会合。</p> <p>31 日 SLD,議会選挙立候補リストを確定。</p>	<p>13 日 コモロフスキ大統領,オーストリア訪問(-14 日)。</p> <p>15 日 トウスク首相,チェコ(V4 議長国)訪問。</p> <p>15 日 シコルスキ外相,第4回リビア・コンタクト・グループ会合に出席(於:イスタンブール)。</p> <p>18 日 シコルスキ外相,EU 外務理事会・総務理事会出席(-19 日,於:ブリュッセル)。</p> <p>19 日 サヴィツキ農相,ブリュッセル訪問。</p> <p>20 日 コソル・クロアチア首相,ポーランド訪問。</p> <p>20 日 ランプリニディス・ギリシャ外相,ポーランド訪問。</p> <p>22 日 スタノフスキ外務次官,ゲオルギエヴァ欧州委員(国際協力・人道援助・危機対応担当)とともに,ケニア訪問(-23 日)。</p> <p>24 日 コモロフスキ大統領,アゼルバイジャン,グルジア,アルメニア訪問(-29 日)。</p> <p>25 日 ポーランド・モルドバ国会議員会合開催(於:キシニョフ)。</p> <p>25 日 国防省,高等練習機に関する企業からの最終提案提出期限(7/29)を8 月末まで延長すると発表。</p> <p>25 日 Safe Skies 演習(ポーランド空軍・ウクライナ空軍及び米州空軍参加)(-26 日,於:ポーランド及びウクライナ領空)。</p> <p>26 日 シコルスキ外相,英国訪問。</p> <p>27 日 ズアリ・チュニジア開発相,ポーランド訪問。</p> <p>27 日 ボルセヴィチ上院議長,第1 回ポーランド・リトアニア対話フォーラムを主催。</p> <p>27 日 カヴチッチ・スロヴェニア上院議長,ポーランド訪問。</p> <p>27 日 議会にて,長期的な開発援助を可能にする法改正に関する審議開始。</p> <p>28 日 ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊兵士1 名が死亡。</p> <p>29 日 外務省,欧州委員会が,カリニン・グランド全域を対象とするポーランド・露間の小規模移動協定が可能となる,国境小規模移動協定に関する 1931/2006 号規定の改訂を発表したことについて,満足の意を表明。</p> <p>29 日 ミレル内務・行政相が長を努める政府事故調査委員会,ポーランド政府専用機墜落事故に関する最終報告書を公表。</p>
--	---